

【議案】令和4年度松浦市介護保険特別会計補正予算（第2号）

1月より御厨地区において、週1回、高齢者の通いの場を、小学生を対象に遊び場や学習支援の場として提供を始めます。このことにより多世代との交流が図られることが目的でもあり、今後、他地区にも広めていくためのモデル事業でもあるので妥当と認めました。

【議案】松浦市火葬場の指定管理者の指定について

施設性格、規模、機能等を考慮し、設置目的を最も効果的かつ効率的に達成することができる社会と判断し、令和5年4月1日からの指定管理者（株式会社斎苑）を認めました。

産業経済委員会

【議案】令和4年度松浦市一般会計補正予算（第7号）（関係分）

○体験型旅行受入強化事業として653万7千円が計上されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の体験型旅行の受け入れは断念したが、来年度からの受け入れに向けて、民泊事業者およびインストラクターの受け入れ意向調査、新規受け入れ先の掘り起し、感染予防対策の講習会、モニターツアー

ーなどを実施し、受入体制の強化を図るための予算計上であり、妥当と認めました。

○松浦鉄道交通維持支援事業として532万円が計上されました。

松浦鉄道は地域の生活路線を維持していく使命を担っており、新型コロナウイルス感染症拡大による鉄道利用者の減少および燃油価格の高騰などの悪条件下にあっても、これまでどおりの運行が求められる。そのため、松浦鉄道株式会社に対し支援金を交付することで、安定的かつ持続的な運行の保持を図るための予算計上であり、妥当と認めました。松浦市の負担は、沿線自治体負担分の12%の532万円です。

議会運営委員会

【請願】つばき荘裁判について

司法の場で慎重に審議され結審していることであるため、事実を証明したいという願意については妥当性が認められないとして不採択とすることに決定しました。

【請願】福島診療所ジェネリック問題について

請願者が、全員協議会に提出された行政の資料に反論したいという内容についての資料の提出を求めている。審査する必要があるとして、継続審査することに決定しました。

続審査することに決定しました。

行政調査

【総務委員会】

総務委員会において継続調査を行っているふるさと納税について調査内容をさらに深めるために10月5日から7日にかけて、ふるさと納税の取り組みについて、福岡県新宮町と北海道白糠町へ行政調査を行いました。

【福岡県糟屋郡新宮町】

福岡県内において飯塚市について2位の寄附受入額となっている。新宮町のふるさと納税の取り組みは、観光協会の事務局長の存在に属人化している。元は、大手旅行代理店であるJTB勤務であったという局長は、コンサルタントさながらの取り組みを行っていた。自治体は、おもてなし協会で行ってよいと「ハンドリング」を協会に持たせている。

行政と協会が大切に行っていることは、寄附を集めることに執着するのではなく町内の事業者にとっても利益に繋がる取り組み姿勢である。

局長の能力に属人化している体制のなかではあるが、事業者、寄附者の心をしっかりと掴む取り組みを行い三方良しの事業構築がなされていた。

【北海道白糠郡白糠町】

①白糠高校魅力化について

白糠高校は、白糠町唯一の高校であり、総生徒数66名の小さな高校である。平成30年6月に白糠町の公営塾として「久遠塾」が開塾された。主な取り組みは、学習サポートと進路サポートである。公営塾設置の効果として「大学進学を考える生徒が増えた」ことを挙げられた。

②白糠町ふるさと納税について

全国において第4位という実績を出されている。白糠町の特徴は、何となくとも北海道の地の利を活かしたエンペラーサーモンやいくらの商品である。自社商品のみを取り扱う地元企業2社が寄附金額の6割を支えている。最初は「いくらなんて買って食べる人がいるのか？」と思っていたという白糠町の取り組みは、地元民が「当たり前」と考えているところに宝が眠っている好例である。二町を行政視察して大変参考になるものであったと感じている。水産都市松浦市において、さらにふるさと納税による寄附額を増やせるよう検討を行っていききたい。